3-7

お年よりにやさしいゲームの工夫

手作りにこだわって

府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター

相談員 今福 崇

東京都府中市朝日町3-17-1

TEL 042-369-0080

E-mail asahi@tama-dhk.or.jp

FAX 042-365-4683

URL <http://www.tama-dhk.or.jp/>

今回の発表の施設またはサービスの概要

あさひ苑のデイサービスは、府中市内の6つの生活圏域の中の第1地区を担当している。
通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護を実施

〈取り組んだ課題〉

午後の活動として、機能訓練・手工芸・歌・ゲームの4つの活動を実施しています。活動は、その日の気分でき自由に選択して参加していただいています。

今回は、その中の活動の一つ、ゲームを題材に利用者へ向けての提供の仕方を取り上げていきます。

〈具体的な取り組み〉

あさひ苑デイサービスは、4・6時間のデイサービスで、1日登録が一般が50名・認知症が10名で実施しています。平均して1日約50名の参加となっています。午後の活動の一つとして、ゲームを実施しています。

既存のゲームで実施をしていましたが、利用者も最初はものめずらしさで参加をしていました。しかし、だんだんと時間がたつにつれ、飽きが出来てしまったようです。また、その人のADLの差がゲームの勝敗を決めてしまうこともありました。

そんな理由から利用者が飽きずにどんな人でも楽しめるゲーム(バリアフリーなゲーム)を考案していく事となりました。

まず取り組んだこととして、過去に行ったゲームで利用者が好む形のを調べていきました。

利用者に飽きがないように、また利用者にあった形のを提供できるように、既存のゲームの物品を活用して、手作りのゲームを作っていくことにこだわっています。

〈活動の成果と評価〉

手作りのゲームを提供する事で、実際の利用者を想像しながらゲームを作りあげる事が出来ました。そうする事により、利用者の満足度も高まり、ゲームの活動に対する期待も増え、参加率も上がってきました。また、ADL面でも配慮できた事により、その日の優勝者が以前のように固まる事もなく、その方の持っている『運』も勝つ為の要素として出てきました。

利用者からも、こんなゲームならば作れるでしょ?などの意見も出始めて、一緒にゲームを作りあげていくことも可能となりました。

〈今後の課題〉

週代わりで新しいゲームを提供している為、内容の充実がだんだんと無くなり、マンネリ化の傾向があります。また、利用者のADLが全体的に低下傾向があるため、更なる配慮が必要となってきています。そういったことを考えながら、ゲームの活動を見直していく必要があります。

〈参考資料など〉